

加齢に伴う目の病気

やまぐち眼科

山口樹一郎

平成28年10月22日

川口メディカルクリニック

自己紹介

- 香川県丸亀市出身・48歳
- 平成4年、杏林大学卒業
- 同年、岡山大学眼科に入局
- 呉共済病院、岡山労災病院
倉敷成人病センターなどに
勤務
- 平成17年6月、浦安西町に
やまぐち眼科を開院
- 趣味: ゴルフ・ファジアーノ・
マラソン



やまぐち眼科



目次

- 白内障
- 緑内障
- 加齢黄斑変性
- その他
 - 糖尿病網膜症
 - 網膜剥離
 - 網膜静脈閉塞症
 - 網膜動脈閉塞症

中高年の人に起こりやすい3つの目の病気

白内障

水晶体が濁る病気

加齢黄斑変性

網膜の黄斑部が傷害される病気

角膜

瞳孔

水晶体

硝子体

網膜

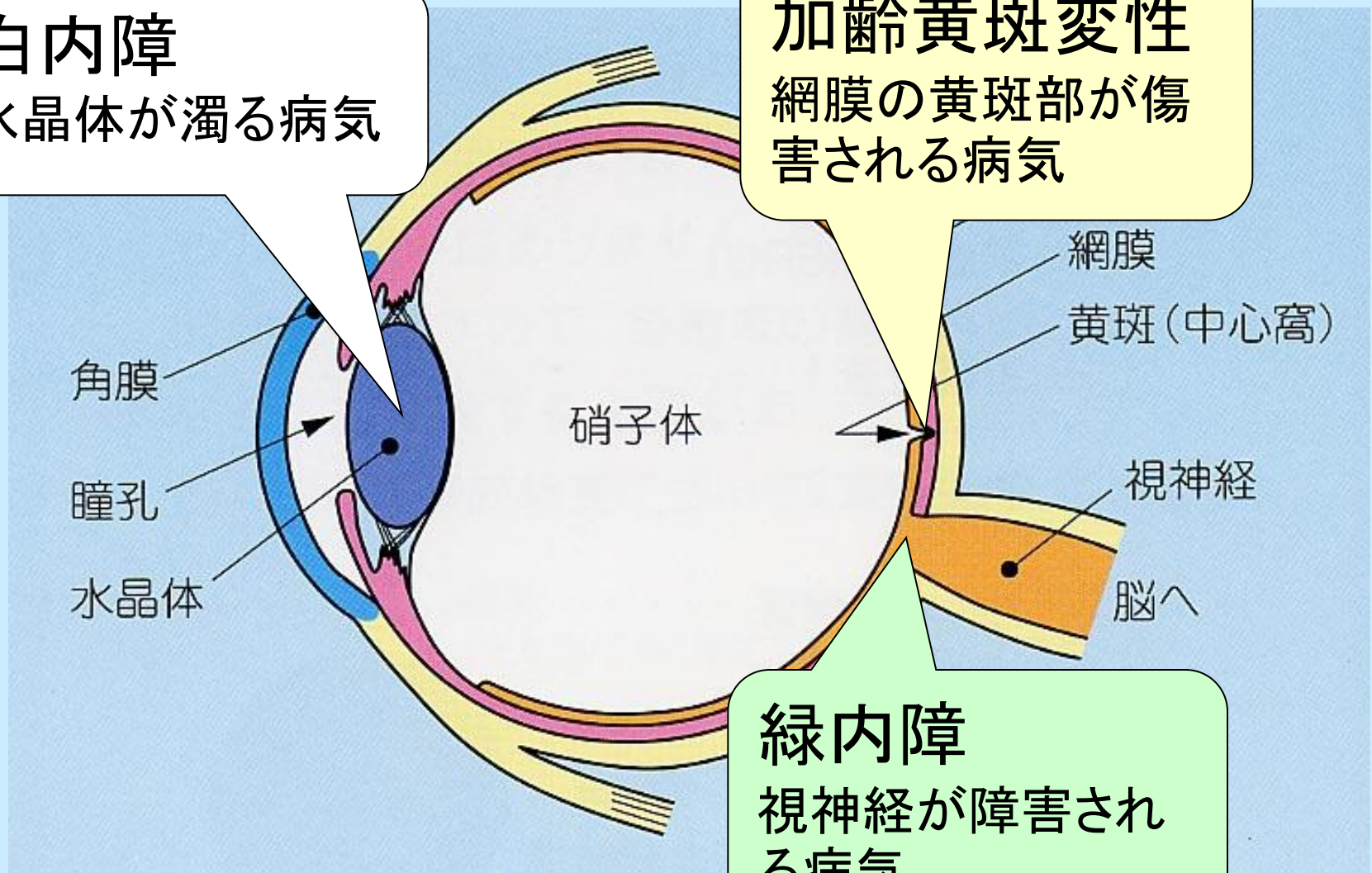
黄斑(中心窩)

視神経

脳へ

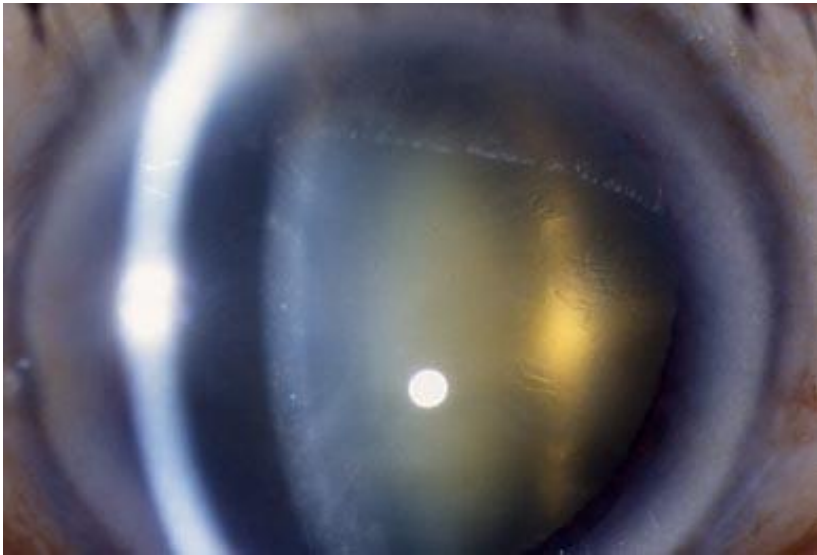
緑内障

視神経が障害される病気



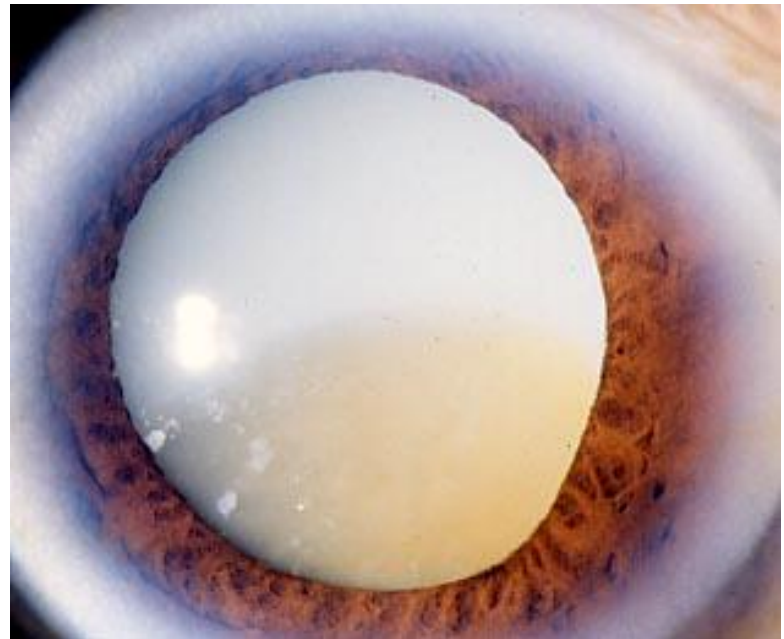
白内障とは

- 水晶体が白く濁る病気
- 9割以上は加齢が原因
- 紫外線は進行を早める



白内障の症状

- 目のかすみ
- 視力低下
- まぶしさ
- 暗いところで見えにくい
- 2重、3重にだぶって見える
- 近くが見やすくなるなど



白内障の治療1

1. 経過観察

定期的に眼科を受診
して白内障の状態を
チェックする

2. 薬物療法

初期の白内障の進行を遅らせる

3. 手術



眼科で経過観察を受けることが大切
『眼科かかりつけ医』を持ちましょう

白内障の治療2

1. 経過観察

定期的に眼科を受診して白内障の状態をチェックする

2. 薬物療法

初期の白内障の進行を遅らせる

3. 手術



白内障の治療3

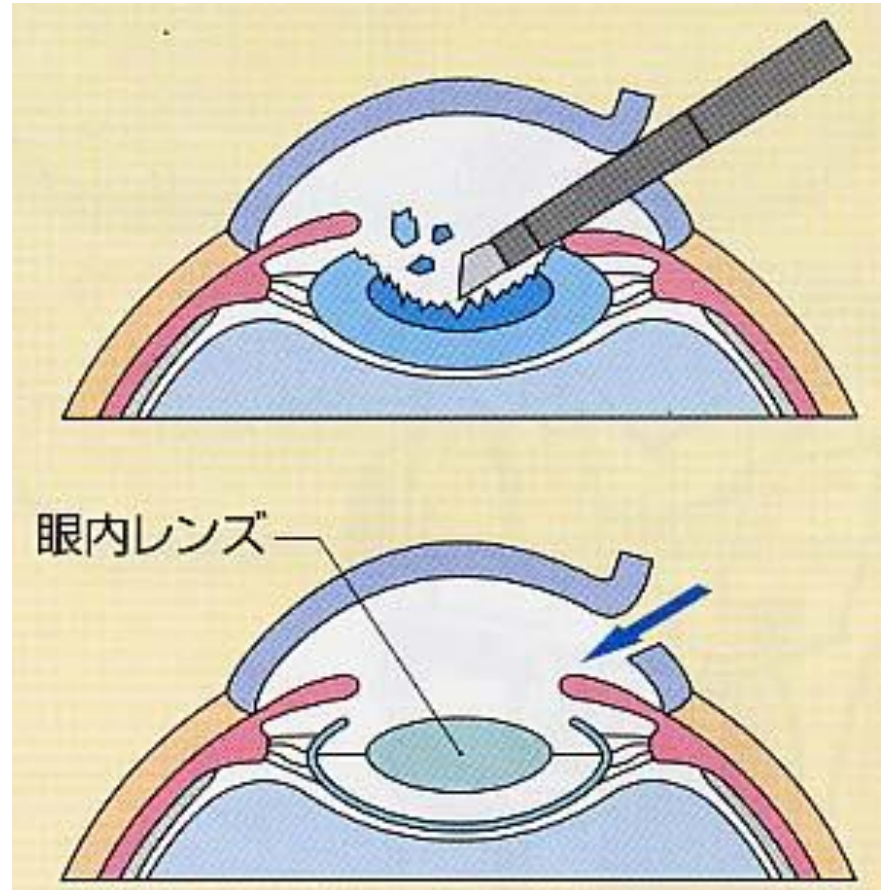
1. 経過観察

定期的に眼科を受診して白内障の状態をチェックする

2. 薬物療法

初期の白内障の進行を遅らせる

3. 手術

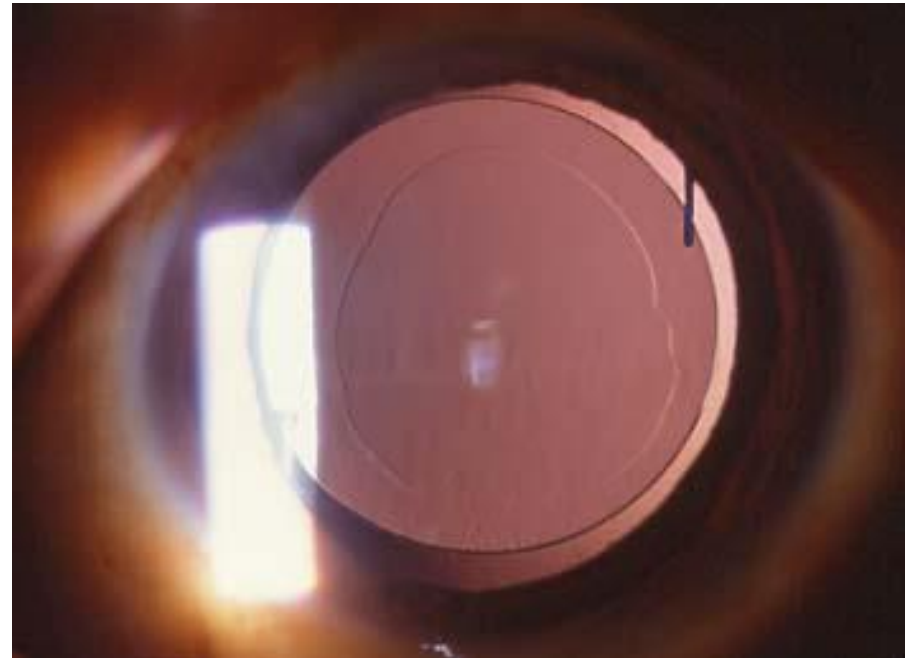
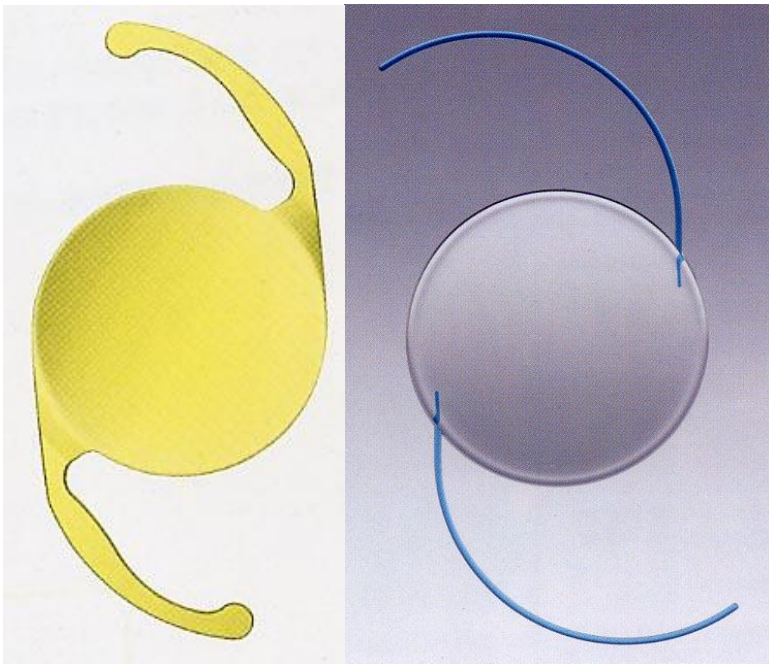


白内障の手術

超音波乳化吸引術

+

眼内レンズ挿入術



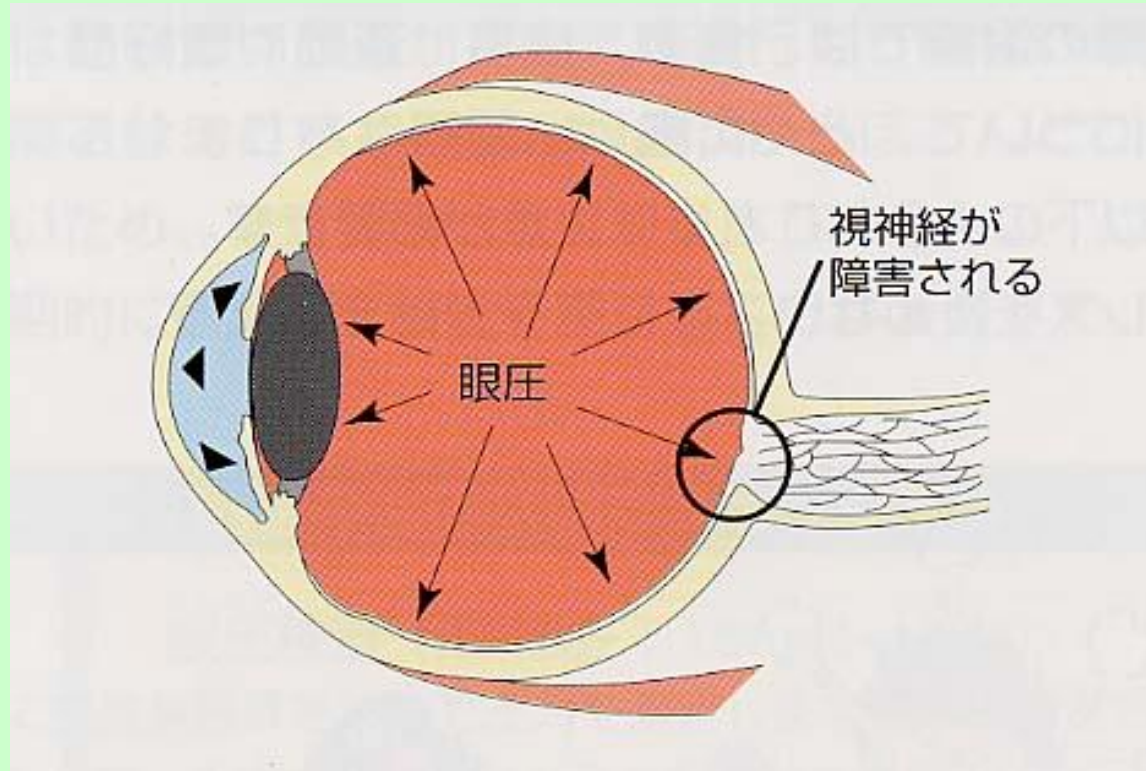
眼内レンズ挿入眼

白内障手術の注意点

- 成功率は高いですが、決して“簡単”な手術ではありません
- 水晶体が濁りすぎると手術が難しくなります
- 細菌感染による「術後眼内炎」が恐ろしい
⇒ 普段から目を清潔にすること、手術後は目薬を指示通りに使い、定期検査を受けることが重要です

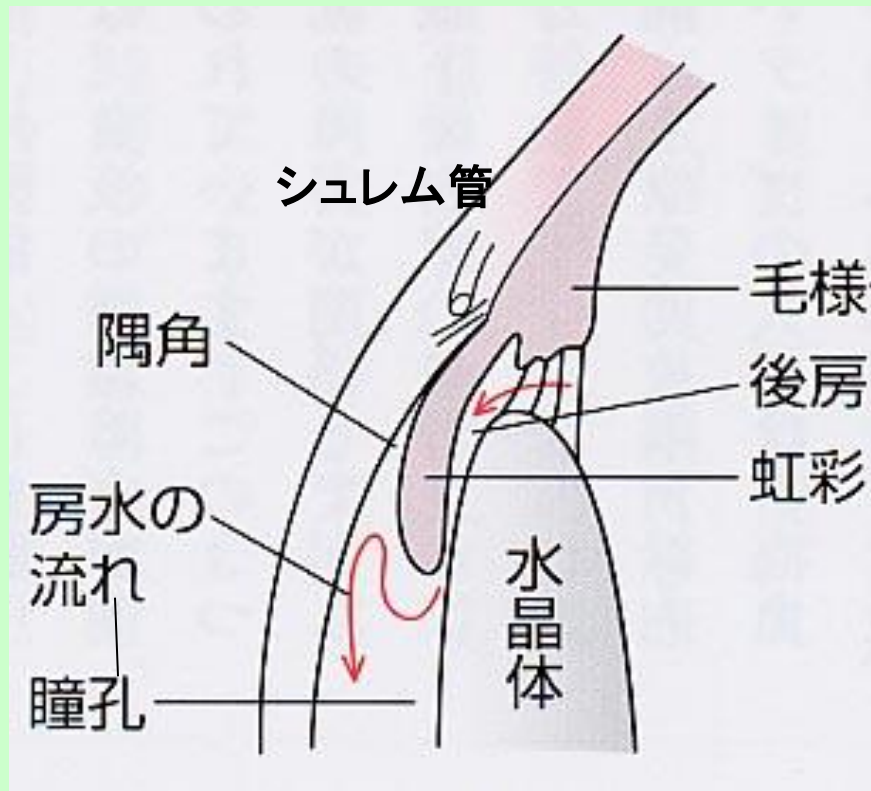
緑内障とは

- 視神経が障害されて、視野が狭くなっていく病気
- 日本人には、眼圧が正常な緑内障が多い



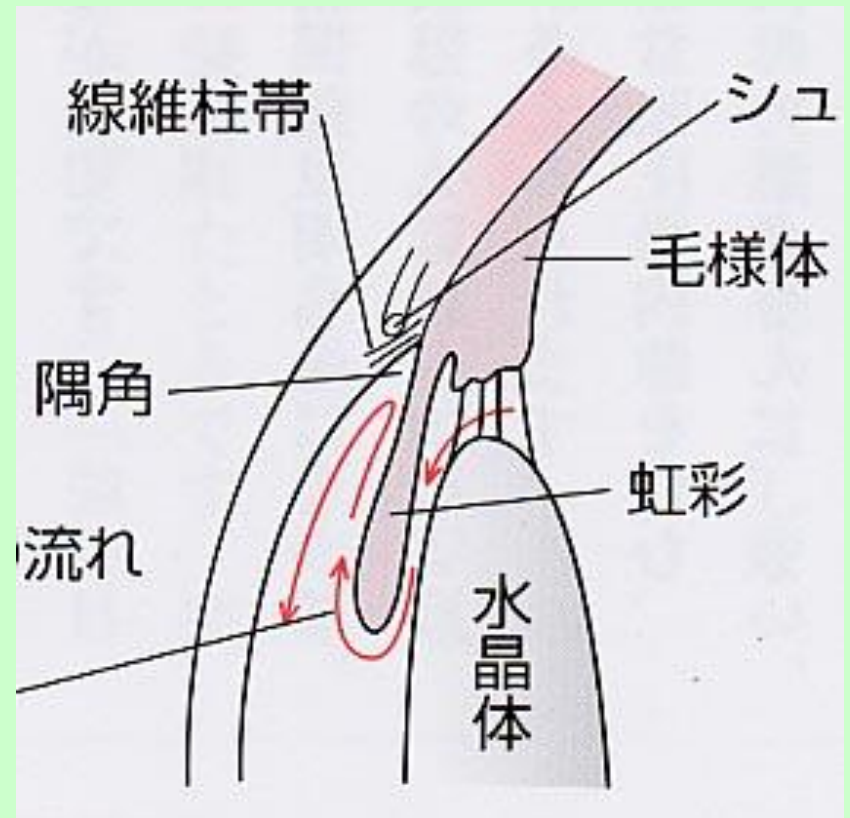
緑内障の2つのタイプ

原発開放隅角緑内障



房水の排出口のフィルターが目詰まりしたタイプ

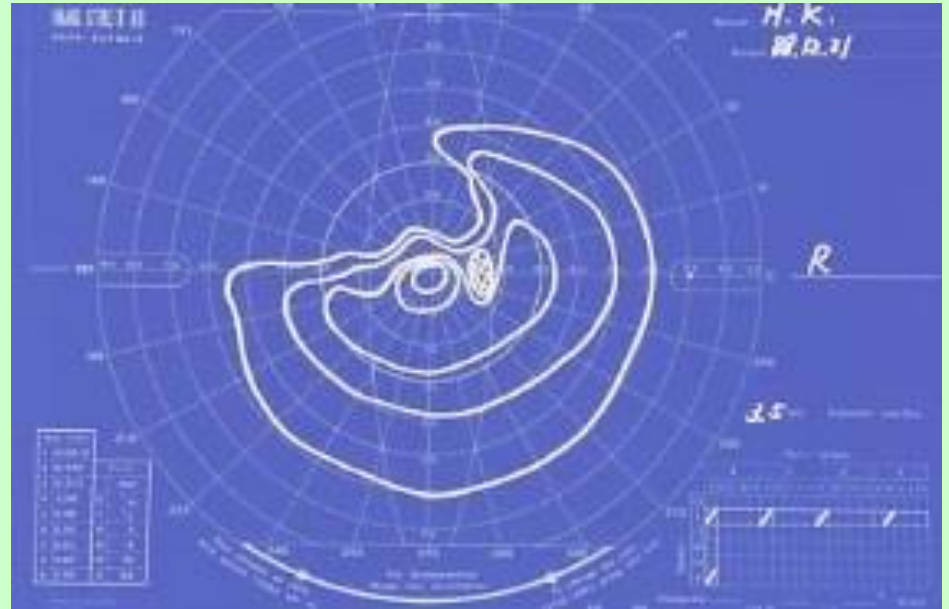
原発閉塞隅角緑内障



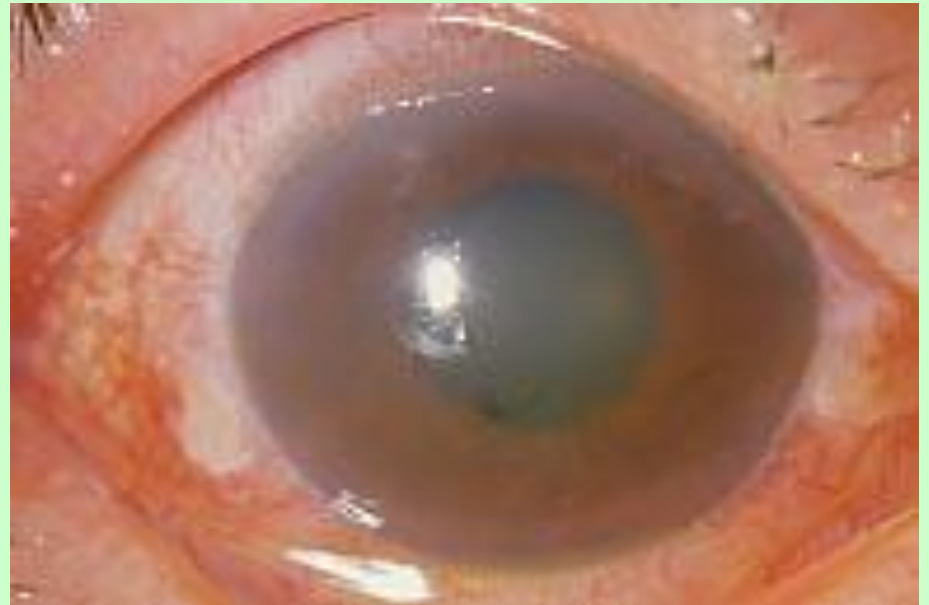
排出口が塞がれたタイプ

緑内障の症状

- 慢性緑内障では、初期にはほとんど無症状
- 進行すると視野が欠けてくる
- 原発閉塞隅角緑内障で、急に眼圧が上がると眼痛、頭痛を生じる（急性発作）



右眼鼻上側の視野狭窄



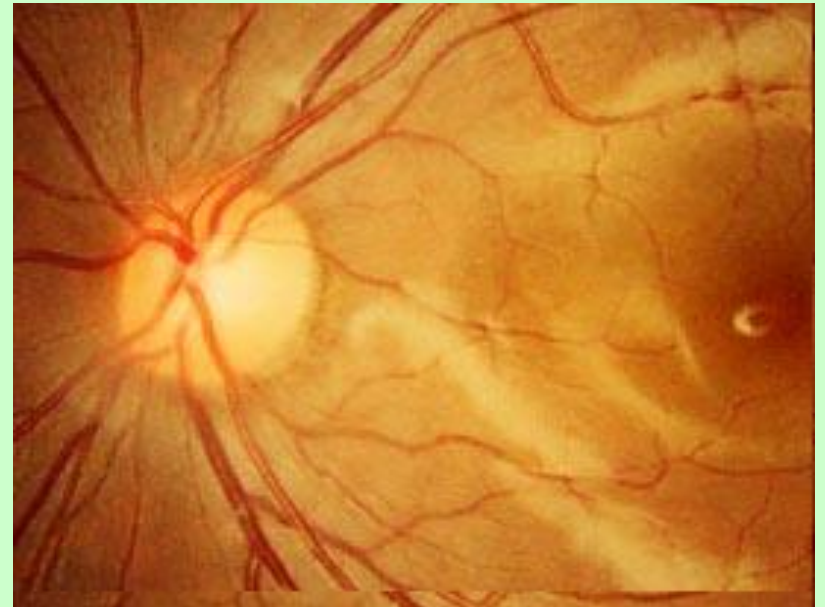
緑内障の早期発見

早期発見に重要な検査

- 1 眼底検査
- 2 視野検査

- ・人間ドックの眼底写真撮影で見つかることもある
- ・結膜炎やメガネ処方で眼科を受診した時に見つかることも多い

正常眼



緑内障の治療

原発開放隅角緑内障

眼圧を下げて視神経
障害の進行を抑える

1. 点眼薬
2. レーザー治療
3. 手術

原発閉塞隅角緑内障

隅角が塞がらないよう
に予防する

1. レーザー治療
(虹彩に小さな穴を開ける)
2. 白内障があれば白
内障手術を行う

緑内障で失明しないために

早期発見、早期治療が大切！

そのためには、

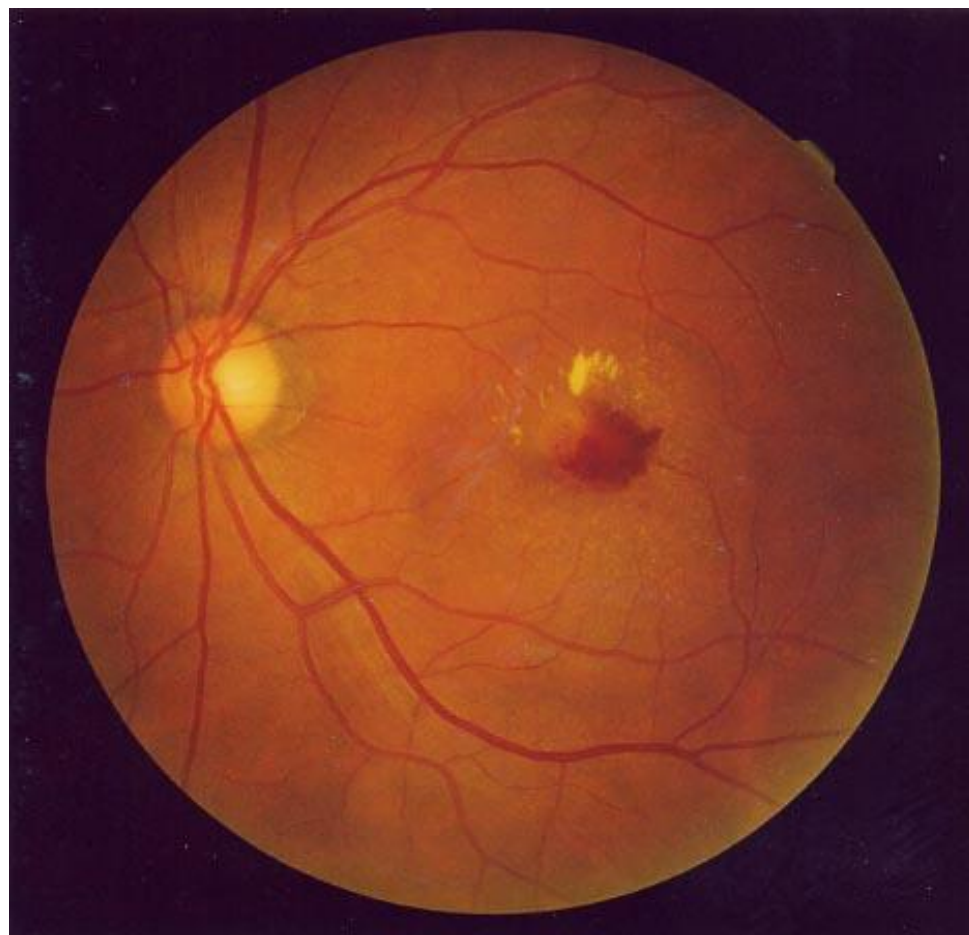
- 40歳を過ぎたら、2～3年に1回は眼科で検査を受ける
- 血縁者に緑内障の方がいる人や強度近視の人は、1年に1回は眼科で検査を受ける
- 人間ドックに眼底検査があれば、必ず受ける
- メガネを作り変えるときは、眼科で検査を受ける

そして緑内障と診断されたら、

- 治療や経過観察を中断しない
- 『**眼科かかりつけ医**』を持ちましょう

加齢黄斑変性とは

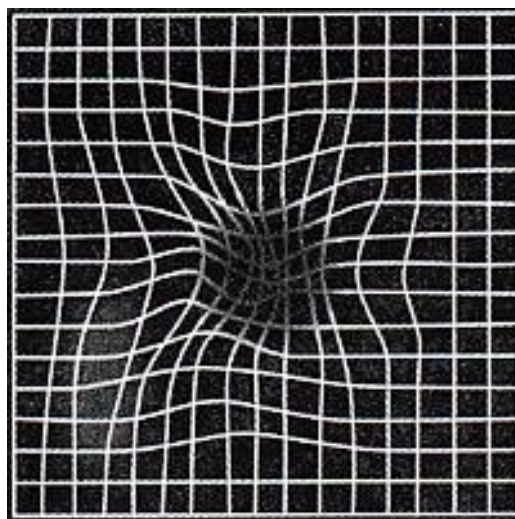
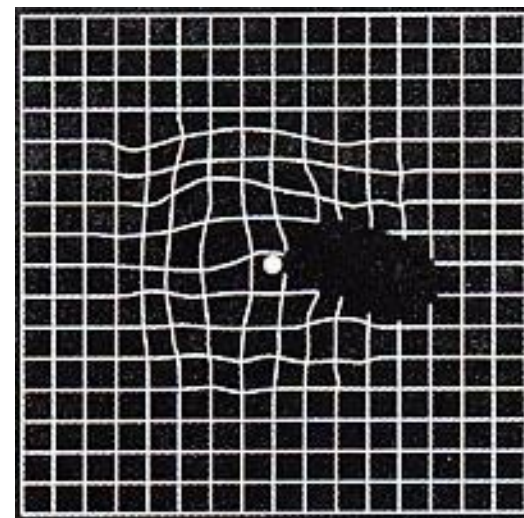
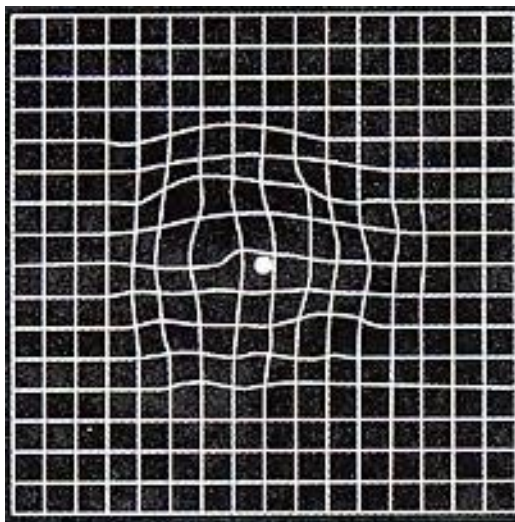
- 網膜の「黄斑部」に障害が起こり、視野の中心部が見えにくくなる病気



65才女性左眼 視力(0.2)

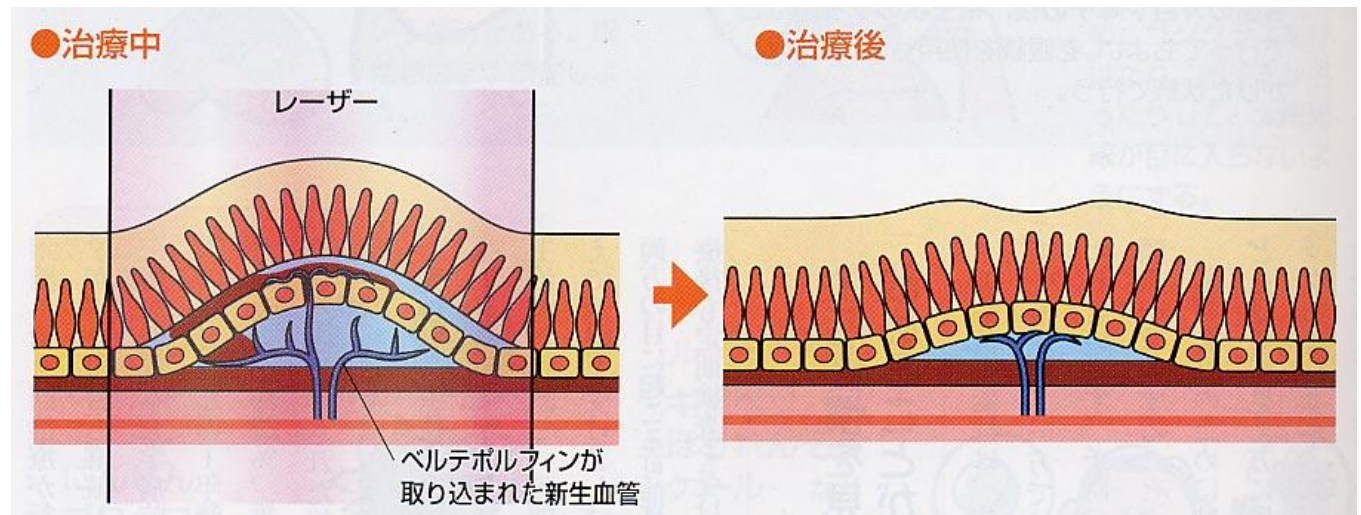
加齢黄斑変性の症状

- 中心部が暗く、見えにくい
- ゆがんで見える
- 視力低下



加齢黄斑変性の治療

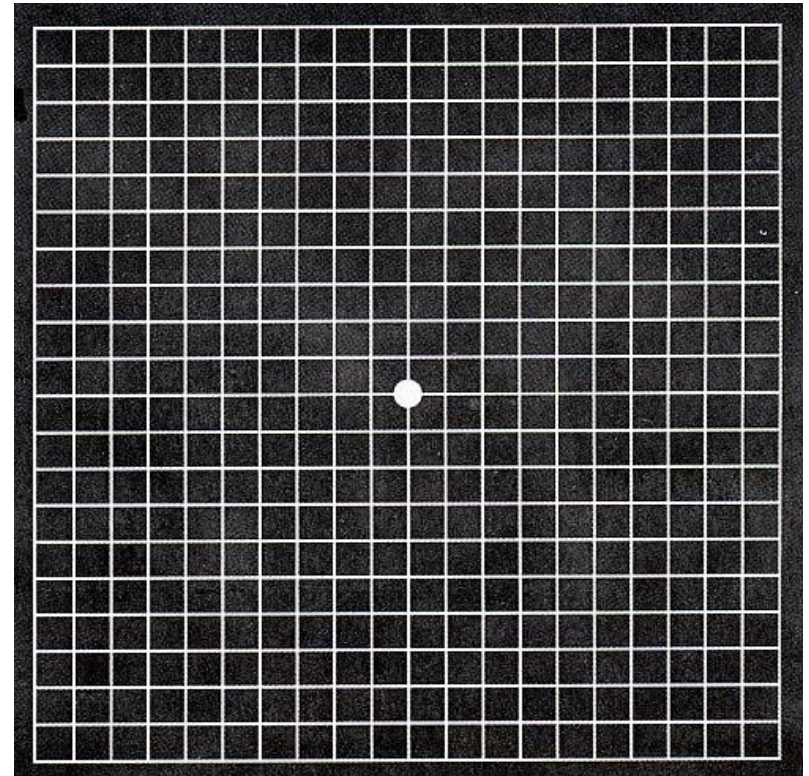
- レーザー治療
- 光線力学療法(PDT)



- 抗血管新生療法

加齢黄斑変性の早期発見

- 碁盤の升目や障子の棧などを片方の目で見
て、見え方に異常がな
いか定期的にチェック
する
- 「ゆがんで見える」など
の異常があれば、すぐ
に眼科を受診する



加齢黄斑変性の予防

危険因子

- タバコ
- 太陽光線
- 偏った食生活

予防

- 禁煙する
- 太陽光線を避ける
サングラス、帽子、日傘を使う
- バランスの良い食生活

『眼科かかりつけ医』を持ちましょう

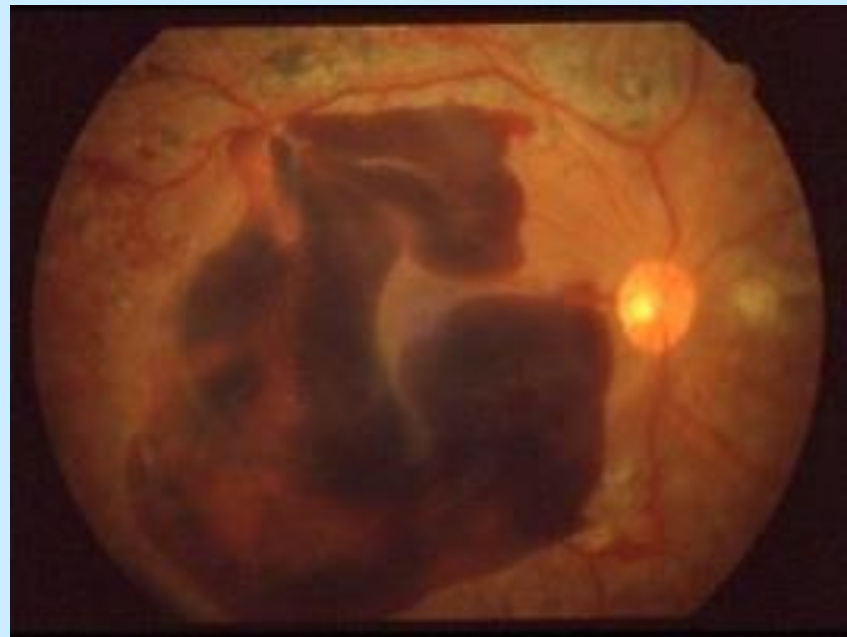


目次2

- 白内障
- 緑内障
- 加齢黄斑変性
- その他
 - 糖尿病網膜症
 - 網膜剥離
 - 網膜静脈閉塞症
 - 網膜動脈閉塞症

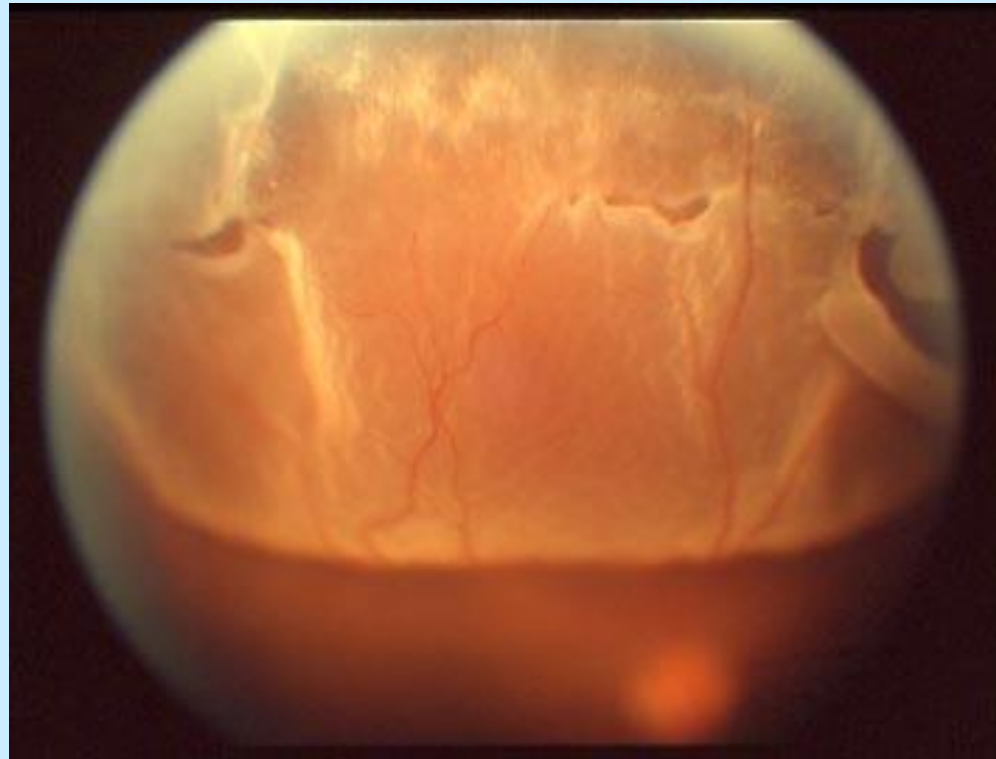
糖尿病網膜症

- 糖尿病によって網膜の血管が傷み、出血や浮腫を生じる病気
- 糖尿病になったら、必ず眼科専門医で眼底検査を受ける
- 初期には、血糖コントロールが治療の基本
- 進行したら、レーザー治療や手術が必要になる



網膜剥離

- 網膜に穴が開き(網膜裂孔)、そこから水が入って網膜がはがれる(網膜剥離)病気
- 「飛蚊症」が急に増えたら、眼科で眼底検査を受ける
- レーザー治療や手術が必要



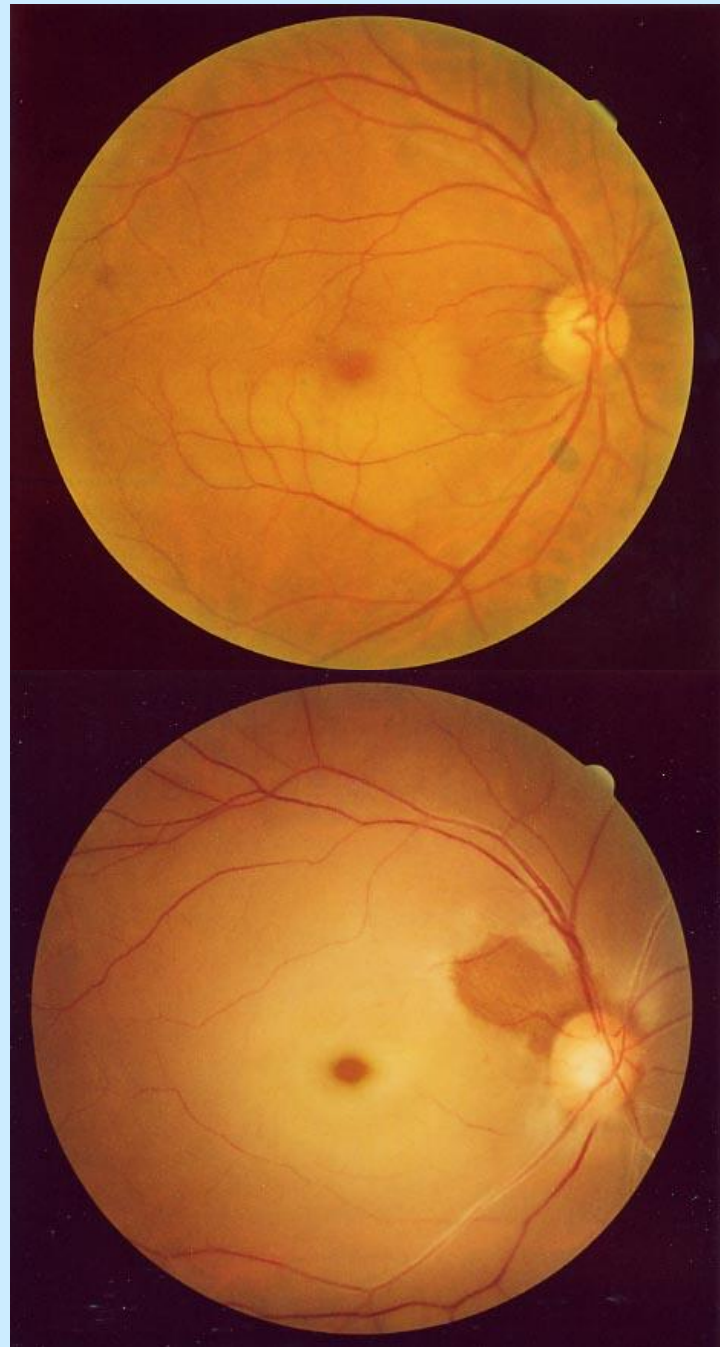
網膜静脈閉塞症

- 網膜の静脈が詰まり、その部位に出血や浮腫を生じる病気
- 高血圧や動脈硬化が原因になる
- レーザー治療や硝子体手術が行われる
- 抗VEGF治療
(血管新生抑制)



網膜動脈閉塞症

- 網膜の動脈が突然詰まる病気
- 急激に視力が低下する
- 動脈硬化によって、頸動脈にできた血栓がはがれて、網膜の動脈を詰まらせることが多い



『眼科かかりつけ医』を持ちましょう

ご清聴ありがとうございました。